

PRESS RELEASE

六本木ヒルズと J-WAVE(81.3FM)がおくる
GW のフリーライブイベント「TOKYO M.A.P.S」開催決定

Yaffle がプログラム・オーガナイザーに就任！全 10 組のアーティストが出演

森ビル株式会社が運営する六本木ヒルズと J-WAVE(81.3FM)は、5月3日(火・祝)と5月4日(水・祝)のゴールデンウィーク中の2日間、フリーライブイベント「J-WAVE & Roppongi Hills present TOKYO M.A.P.S Yaffle EDITION」を六本木ヒルズアリーナで開催します。

毎年ゴールデンウィークに開催してきた「TOKYO M.A.P.S」は、六本木ヒルズと J-WAVE がこれまで取り組んできた文化発信を、音楽・アート・パフォーマンスなどのプログラムを通じて体感・参加できる特別プログラムイベントとして2008年にスタートしました。毎年プログラム・オーガナイザーを迎え、その年のテーマに沿ったオリジナリティ溢れる魅力的なアーティストが出演します。2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を断念することとなりましたが、2022年は感染対策を万全に、3年ぶりに開催します。



今年のプログラム・オーガナイザーには、感度の高いプロデューサーワークで、国内外の数多くのアーティストのアレンジや楽曲提供から、CM・映画の音楽制作など幅広く活躍する気鋭のソングライター・プロデューサー Yaffle が就任。Yaffle が掲げる今年の「TOKYO M.A.P.S」のテーマ“Resonance”のもと、5月3日(火・祝)は **eill, iri, Nulbarich, Ryohu, 新東京**、5月4日(水・祝)は **AAAMYYY, Kroi, TENDRE, WONK, Yaffle**(出演アーティストは両日ともアルファベット順)の全10組が出演します。プログラム・オーガナイザーでもある Yaffle のステージでは、本邦初となるライブ・セットを披露する予定です。

ゴールデンウィークは、Yaffle のキュレーションによる多彩なアーティストのフリーライブをお楽しみください。

「J-WAVE & Roppongi Hills present TOKYO M.A.P.S Yaffle EDITION」開催概要

開催期間: 5月3日(火・祝)、5月4日(水・祝)

会場: 六本木ヒルズアリーナ

入場料金: 無料・入れ替え制

主催: 六本木ヒルズ、J-WAVE(81.3FM)

問い合わせ: 六本木ヒルズ総合インフォメーション
03-6406-6000(11:00~19:00)

公式サイト: <https://www.tokyomaps.jp/>

公式 Twitter: @TOKYOMAPS

<タイムテーブル>

	5月3日(火・祝)	5月4日(水・祝)
12:00~	iri	Kroi
13:45~	新東京	AAAMYYY
15:30~	eill	TENDRE
17:15~	Ryohu	WONK
19:00~	Nulbarich	Yaffle

今年の「TOKYO M.A.P.S」は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しての開催となります。観覧は入場整理券*を配布し、各回入替・定員制となります。

*入場整理券の配布方法については、後日 TOKYO M.A.P.S 公式サイトにてお知らせいたします。

荒天によりイベントが中止となる場合がございます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて急遽中止やイベント内容が変更となる場合がございます。

◇本リリースに関するお問合せ先◇

森ビル株式会社 タウンマネジメント事業部
担当: 渡邊茂一、山村麻里恵、岡山澄香
TEL: 03-6406-6350 FAX: 03-6406-6483

六本木ヒルズ PR 事務局(株式会社プラチナム)
担当: 神谷摩耶、永瀬典子、小野悠奈
TEL: 03-5572-6072 FAX: 03-5572-6075
MAIL: hills_pr@vectorinc.co.jp



TOKYO M.A.P.S コンセプト

「TOKYO M.A.P.S」それはまさに“東京の地図”です。しかしその地図には道も場所も記されていません。しかも一枚ではありません。紙ですらありません。その地図は Music.Art.Performance.の地図です。その M.A.P が複数(S)集まり、Showcase の中で Special な Stream となって Session する Series。それが「TOKYO M.A.P.S」です。

<テーマ & Yaffle メッセージ>

テーマ: “Resonance”

共鳴/共振という現象があります。

物体が他の物体から、ある特定の振動数の刺激を受けると激しく振動する現象です。

ピアノやギターは、実際に音を発している部分の音量はとても小さいのですが、この現象を利用して楽器全体が振動(共鳴)することによって僕たちが普段慣れ親しんでいる音量まで大きく音を響かせています。とてつもなく大きな力も初めはとても小さいエネルギーから始まっています。個々人の動きは小さくても、やがては大きな力になり得る事を日々実感させられています。大事なことは鳴らし続けることです。

このイベントは誰かが始める小さな“振動”のきっかけになれることを期待しています。



<プログラム・オーガナイザー>

■ Yaffle (ヤッフル)

TOKA のプロデューサーとして、藤井風や iri、SIRUP、小袋成彬、Salyu、eill、adieu などの楽曲を手がける。2020 年 9 月、欧州各地のアーティスト計 8 名をゲストに迎えた 1st アルバム「Lost, Never Gone」をリリース。国内外で高い注目を集める。昨年 10 月に発売されたポケモン 25 周年を記念したコンピレーション・アルバムには唯一の日本人アーティストとして参加。映画音楽の制作も担当しており、参加した作品には『ナラタージュ』(2017)、『響-HIBIKI-』(2018)、『えんとつ町のプペル』(2020)、『キャラクター』(2021)などがある。

Yaffle オフィシャル・サイト/SNS

TOKA ウェブサイト: <http://toka.jp/>

YouTube: https://www.youtube.com/channel/UCzr5-d6S0NBr_IxaultNgSg

Instagram: <https://www.instagram.com/yaffl3/>

Twitter: <https://twitter.com/YAFFL3>

Yaffle Works プレイリスト: <https://open.spotify.com/playlist/37i9dQZF1DX01qDIXriHPW?si=b370ab62d9e54e11>

<出演アーティスト紹介>

■ eill

東京出身。ブラックミュージックを下地にした音楽性と、甘さ/切なさ/艶感/力強さが共存した歌声で魅了するシンガーソングライター。15 歳から歌い始め、同時に PC で作曲も開始。2018 年 6 月にシングル「MAKUAKE」でデビュー。多彩なソングライティング・センスが高い評価を受け、BE:FIRST、ジャニーズ WEST、NEWS、テヨン(ex 少女時代)、EXID 等に楽曲を提供。情感豊かな歌声に魅せられたアーティストも多く、SKY-HI、PINKSWEAT\$等、国内外のアーティストの楽曲に客演で参加。

2021 年 4 月に TV アニメ『東京リベンジャーズ』の ED 主題歌に起用されたメジャーデビュー第一弾シングル「ここで息をして」をリリースし、その後も映画・月 9 ドラマ・Abema ドラマ主題歌、TVCM ソングなど数々のタイアップを担当。2022 年にメジャー 1st アルバム『PALETTE』をリリースし、タイトル楽曲「palette」は「アクエリアス」TVCM ソングに起用された。6 月には延期となっていた eill『BLUE ROSE TOUR 2022』の名阪公演の振替公演と、川崎・CLUB CITTA' での追加公演も決定している。



■ iri

神奈川県出身。HIP HOP/R&B マナーのビートとアップリフティングなダンストラックの上をシームレスに歌いこなすシンガーソングライター。地元の JAZZ BAR で弾き語りのライブ活動を始め、2014 年ファッション誌 NYLON JAPAN と Sony Music が開催したオーディションでグランプリを獲得する。2016 年ビクターよりメジャーデビューし、iTunes Store でトップ 10 入り、ヒップホップ/ラップチャートでは 1 位を獲得。翌年には Nike のキャンペーンソングを手掛け話題となる。数多くのファッション誌にも登場し、フランスのフェスや中国でツアーを開催するなど海外でのライブにも出演するなど、新進女性アーティストとして多方面から注目される。昨年 10 月にデビュー 5 周年を迎え、「iri 5th Anniversary Live “2016-2021”」を開催し、ベストアルバム「2016-2020」もリリース。今年 2 月に、5th アルバム「neon」をリリースしている。





■ Nulbarich

シンガー・ソングライターの JQ が(Vo.)がトータルプロデュースする Nulbarich。2016 年 10 月、1st アルバム「Guess Who?」をリリース。その後わずか 2 年で達成した武道館ライブは、即ソールドアウト。日本はもとより中国、韓国、台湾などのアジアでも多数のライブを行う。生演奏をサンプリングし組み上げるといふ、ビートメーカー出身の JQらしいスタイルから生まれるグルーヴィーな音は、バイリンガルなボーカルと溶け合い、エモーショナルでポップなオリジナルサウンドへと昇華される。“Null(何もない)”けど“Rich(満たされている)”を意味するバンド名にも、そんなアンビバレントなスタイルへの JQ の想いが込められている。



■ Ryohu

HIPHOP クルー・KANDYTOWN のメンバーとしても活動する、東京都世田谷区出身のラッパー/トラックメイカー。10 代より音楽活動を始める。OKAMOTO'S のメンバーと共にズットズレテルズとして活動。2016 年、KANDYTOWN として 1st アルバム「KANDYTOWN」をワーナーミュージック・ジャパンからリリース。2017 年からはソロとして本格始動し、同年に EP「Blur」を、2018 年にはミックステープ「Ten Twenty」を発表。2020 年には、GU × SOPH のコラボレーション・コレクション 1MW by SOPH. へ楽曲を提供し、イメージビジュアルにも参加している。同年 11 月には、App Store の CM ソングに使用された楽曲「The Moment」を収録した 1st アルバム「DEBUT」を Victor/SPEEDSTAR RECORDS からリリース。これまでに、Base Ball Bear、Suchmos、ペトロロールズ、OKAMOTO'S、あいみょんなど様々なアーティストの作品に客演として参加。



■ 新東京

2021 年 4 月結成。20 歳の現役大学生による 4ピースギターレスバンド。シティポップを下地にしながらも、手数の多いフレーズによる卓越したプレイによって圧倒的な個性を放つサウンドが生み出される。サウンド以外にも、アートワークや映像もセルフプロデュースする鋭角なセンスが光る。昨年 8 月デビュー作「Cynical City」をリリース。ノンプロモーションながら、Spotify の RADER: Early Noise、New Music Wednesday の大型プレイリストにいきなりリストイン。続いて、10 月にリリースした「The Few」は、2 作目ながら、J-WAVE SONAR TRACKS に大抜擢される。つい先日成人式を迎えたばかりの彼等は、大学を 1 年間休学して音楽活動に専念することを決意。今年 2 月にはバンド組織を法人化し、新東京合同会社を設立。デザイン、レコーディング、ミックス、マスタリングまで全てのクリエイティブをセルフプロデュースしている。



■ AAAMYYY

SSW/トラックメイカー。2017 年からソロとして AAAMYYY 名義で活動を開始。2018 年 6 月に Tempalay に正式加入。国内外の様々なアーティストとのコラボレーション、木村カエラ、DAOKO 等への楽曲提供、CM 歌唱提供等幅広い活動で注目を集める。2017 年から 2018 年にかけて EP3 部作「WEEKEND EP」、「MABOROSI WEEKEND」、「ETCETRA EP」をテープ & 配信でリリース。2019 年 2 月 6 日(水)に待望の 1st アルバム「BODY」、2020 年 5 月に配信シングル「HOME」、7 月に「Leeloo」、9 月に「Utopia」をリリース。昨年 8 月には 2nd アルバム「Annihilation」をワーナーミュージック・ジャパンよりリリースした。



■ Kroï

2018 年 2 月に結成した、内田玲央(Vo.)、長谷部悠生(Gt.)、関将典(Ba.)、益田英知(Dr.)、千葉大樹(Key.)による 5 人組バンド。2R&B/ファンク/ソウル/ロック/ヒップホップなど、あらゆる音楽ジャンルからの影響を昇華したミクスチャーな音楽性を提示している。あらゆる音楽ジャンルの色を取り入れて新しい音楽性を創造したいという考えを持っている彼らのバンド名は、全ての色を混ぜると黒になることからくる“黒い”と、メンバーが全員ブラックミュージックを好み、そこから受けた影響や衝撃を日本人である自分たちなりに昇華するという意味を込め、Black を日本語にした“黒い”から Kroï と命名された。



■ TENDRE

河原太朗のソロ・プロジェクト。昨年春に EMI/ユニバーサルよりメジャーデビュー・アルバム「IMAGINE」をリリース。Chara や堀込泰行、SIRUP といったアーティストへの楽曲提供やプロデュース、コラボレーションを行うなど、その活動は多岐に渡る。





■ WONK

日本の音楽を再定義するエクスペリメンタル・ソウルバンド。メンバーそれぞれがソウル、ジャズ、ヒップホップ、ロックのフィールドで活動するプレイヤー/プロデューサー/エンジニアからなる異色のバンド。2016年の1stアルバム発売以来、国内有数の音楽フェスへの出演や海外公演の成功を果たし、ジャンルや世代を超えた国内外のビッグアーティストへ楽曲提供・リミックス・演奏参加するなど、音楽性の高さは多方面から支持されている。2020年6月に4枚目のフルアルバム「EYES」をリリース。フル3DCGによる配信ライブを行い、Twitterのトレンドにも入るなど話題に。昨年2月には香取慎吾氏とのコラボ曲「Anonymous (feat.WONK)」をリリースし、初のドラマ主題歌を担当。和田アキ子氏への楽曲提供を行うなど、楽曲提供のリクエストが後を絶たない。今年3月、新曲「Pieces」をリリース。5月には DREAMS COME TRUE featuring 上原ひろみ、Chris Coleman、古川昌義、馬場智章との LIVE も発表されている。



レストラン予約など、「ヒルズアプリ」の機能が拡充

森ビルが運営する六本木ヒルズ、アークヒルズ、虎ノ門ヒルズなど様々な“ヒルズ”のサービスを ONE ID でシームレスに活用できる「ヒルズアプリ」では、ヒルズカードのポイントを二次元コードで加算・利用できるように加え、パーソナライズされたサービスや情報をお届けするなどお客様にあわせたサービスをご提供しています。この度、一部グルメ店舗の予約や、ヒルズで開催される対象イベントへお申込みができるようになりました。さらに、ポイント利用も 1pt 単位からでき、一部ヒルズポイント交換特典はアプリ上で交換いただけるようになりますなど、これまで以上に利便性が向上しました。ヒルズアプリは今後も“ヒルズ”を舞台に、より便利で、より豊かな都市生活・顧客体験をご提供できるよう、順次機能を更新して参ります。

https://www.hillscard.com/about_app



ヒルズみんなのルール

森ビル独自の感染拡大防止に向けた取り組み

六本木ヒルズでは、新型コロナウイルスの感染の予防と拡大防止のため、予防対策を徹底し営業しています。詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.roppongihills.com/topics/2020/06/006476.html>

<みんなを守るルール>

- ・フィジカルディスタンスの確保
- ・消毒、手洗い

・マスク着用

<ヒルズの取り組み>

- ・エレベーターの乗車ルール
- ・街の清掃、消毒／入り口での消毒液設置
- ・スタッフの出勤前の検温／体調管理

- ・一部箇所でのお客様への検温実施
- ・適切な換気
- ・タッチレス会計／コイントレイの設置

